

気をつけてください!!

セアカゴケグモ・マムシ・スズメバチ

暖かくなると、いろんな昆虫や動物の動きが活発になります。

中でも、私たち身の回りには、危険なクモ・ヘビ・ハチなどが生息しています。

町民の皆さんも、これら危険な生き物を見つけた時は、慌てず・冷静に・適切な対応を行い、咬まれたり・刺されたりしないように気を付けましょう!

セアカゴケグモ

セアカゴケグモは、オーストラリア産の特定外来種で、平成7年に大阪府で発見されて以来、これまでに全国24府県で生息が確認されています。熊本県でも、平成25年8月に初めて確認されました。

今回、長洲町の有明工業団地内においてセアカゴケグモの発見情報があり、生息状況調査を行いました。セアカゴケグモやその卵は確認できませんでした。九州各県でセアカゴケグモの生息が確認されており、県内のどの場所においても生息している可能性があります。

セアカゴケグモは基本的におとなしく、攻撃的ではありませんが、毒をもっているため、絶対に素手で触らないようにしてください。

(1. 特徴)

成体のメスは、約10~15mmで、全体的に黒色又は褐色です。

背面には、赤色のひしがたを2つ並べた帯状、腹面には赤い砂時計のような模様があります。また、卵のう(中には100個程度の卵が入っている)は、約10mmで乳白色又は黄褐色です。

成体のオスは、約3~5mmで腹部の背の部分に白い斑紋があります。

なお、毒を有するのはメスのみで、オスは無毒です。

(2. 生息場所)

日当たりが良く暖かい、昆虫や小動物等のえさが豊富で、巣を張る適度な隙間があるところで繁殖します。

- ・花壇の周りのブロックのくぼみや穴、プランターと壁の間
- ・排水溝の側面やふたの裏
- ・低木の下の方・空き缶の中
- ・放置された自転車、駐車場用段差解消スロープの裏など

(3. 予防方法)

- ・外での作業には、軍手などの手袋を着用するようにしましょう。
- ・不用意に側溝などの隙間に手を入れないようにしましょう。
- ・家の周りの整理整頓と生息しそうな場所を定期的に掃除し、クモが発生しにくい環境を作りましょう。
- ・生息しそうな場所に普段から注意し、クモの巣があれば棒切れなどで払ってください。

(4 . 駆除方法)

- ・一般的には、市販の家庭用殺虫剤（ピレスロイド系殺虫剤）を噴霧するか、靴で踏み潰して駆除してください。
- ・卵のうは、しっかり踏み潰すか焼却してください（卵は殺虫剤の効果が薄いようです）

(5 . 咬まれたとき)

- ・咬まれると、初めはチクリと針で刺したような痛みを感じ、咬まれた部分の周りがかはれて赤くなり痛みは次第に全身に広がります。悪化すると、多量の汗をかいたり、寒気や吐き気などが現れることもあります。
- ・通常は、数日から数週間で回復する例が多く、咬まれた場合ほとんどが軽症ですが、重症化することもあり、特に小児・高齢者がかまれた場合は症状が重くなる場合があるのでご注意ください。
- ・咬まれた時は、速やかに医師の診察を受けてください。できれば、咬まれたクモも持っていかれたほうが適切な治療につながります。

参考：九州地方環境事務所のセアカゴケグモのページ

(https://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/data/m_2_8/m_2_8_1_2.pdf)

もし、セアカゴケグモを発見したら、役場住民環境課（☎78-3122）まで連絡してください。



腹部が丸い
背面に赤い模様



腹面にも赤い模様

腹面の赤い砂時計型の模様が特徴です。

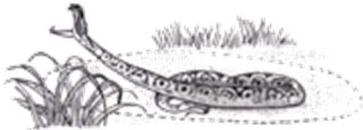
マムシ

太くて短い（体長約 60 センチメートル）。頭は三角形又はスプーン型で全身に褐色の銭形模様があります。

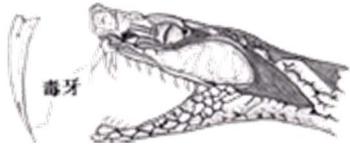
マムシには自衛のテリトリーがあり、その範囲内に入ると攻撃してきます。人間が手を出さなければ、攻撃してくることはありませんが、不用意にヘビの上に腰掛けてしまったようなときに咬まれることがあります。

咬まれても、あわてずに（あわてると毒のまわりを助ける）医療施設に行きましょう。テレビで見ると、毒を吸い出したりきつく縛ったりするのは間違いで、非常に危険なので絶対にしないようにしましょう。

マムシの毒牙と攻撃範囲



マムシには自衛のテリトリー（点線内）があります



マムシの上顎先端にある毒牙は、口を開くと上顎と直角に立ちます

<マムシに咬まれた時の応急方法>

1. まずヘビを観察し、咬まれた痕を見てマムシかどうか確認します。
2. マムシなど毒ヘビに咬まれた場合は、慌てて動き回ってはいけません。
3. 咬まれた部位よりも心臓に近い所を軽く縛って下さい。
4. そのまま安静を保った状態で、下記の医療機関（血清を常備）で受診して下さい。

荒尾市民病院 (☎0968-63-1115)

玉名中央病院 (☎0968-73-5000)

玉名地域医療センター (☎0968-72-5111)

スズメバチ

スズメバチ類の総称で体長3~4センチメートルです。

刺すのはメスだけで、夏から秋にかけてはちょっとした刺激にも反応しやすく非常に危険です。

スズメバチは、黒色に対して激しく攻撃するので、黒っぽい服装をさけ、明るい色の服装を心がけましょう。(黒いカメラ・長靴も危険!)また、香水にはスズメバチ類の攻撃フェロモンと同じ物質が含まれていることがありますので注意しましょう。

なによりも巣に近づかないことが一番ですが、もし、襲われたときは手で払ったり急に向きを変えるのはかえって危険です。しばらくじっとして、ハチが去ってから静かに後退しましょう。

【スズメバチに刺されないための注意ポイント】

- ・ハチを刺激しない。
- ・ハチが近づいてきたら、振り払ったりせずに、そっとハチから離れる。
(* 急な動きは、ハチを刺激するので要注意です。)
- ・巣が近くにあるときは、そっと巣から遠ざかる。
- ・ハチの巣の近くで大声をだしたり、物をなげたりしない。
- ・外で作業をする際は、肌が露出しないようにし、帽子も着用する。
(色は白っぽいものを選び、黒など色の濃いものは避ける。)

刺されたときは・・・

1. 現場から遠ざかり
2. 傷口を流水でよく洗い流す
3. 患部に抗ヒスタミン軟膏を塗り、できれば医師の診察を受けましょう。



このページに関するお問い合わせ

■長洲町役場 住民環境課

〒869-0198

熊本県玉名郡長洲町大字長洲 2766 番地

電話:0968-78-3122